

**第8回 中国香料香精化粧品学術研討会において
カネボウ化粧品が「1等賞」と「2等賞」を受賞**

株式会社カネボウ化粧品

カネボウ化粧品は、中国香料香精化粧品工業協会が主催する「第8回 中国香料香精化粧品学術研討会（2010年6月2～4日：中国・広州市）」において、最も優秀な研究成果に授与される「1等賞」と「2等賞」をダブル受賞しました。

中国香料香精化粧品学術研討会は、中国国内外から多くの企業・大学・研究機関の研究者が参加するもので、中国化粧品業界の技術進歩に貢献する優秀な論文が選考されます。

カネボウ化粧品の受賞は、前回大会（2008年）の「2等賞」、前々回大会（2006年）の「2等賞」「3等賞」に続き、3大会連続の受賞となります。



受賞した丹野主席研究員（右）と内田研究員

受賞内容**【1等賞：L-カルニチンの表皮での産生と皮膚への効果】**

発表者：株式会社カネボウ化粧品 スキンケア研究所 主席研究員 丹野 修

概要：

アミノ酸の一種で、表皮の活動に必要なエネルギーを供給するL-カルニチンが、表皮自身において産生されていることを確認。更に、L-カルニチンは表皮細胞においてβ酸化を亢進するとともに、細胞間脂質の産生を高めることも確認した。また、L-カルニチンを含むクリームを実際にヒトに使用した試験においては、角層水分量の増加や表皮バリア機能が改善するとともに、シワの改善も認められた。

【2等賞：皮膚への浸透原理に基づいた化粧品製剤の開発】

発表者：株式会社カネボウ化粧品 スキンケア研究所 研究員 内田 崇志

概要：

スキンケア化粧品において有効成分の皮膚への浸透は重要な課題であり、なおかつ、皮膚のバリア機能を乱さないことが重要である。今般、より優れた美白化粧品の製剤開発を目的として、新規美白有効成分「マグノリグナン」について検討を行ない、マグノリグナンの製剤中における活量係数と皮膚内における活量係数をコントロールすることにより、皮膚にダメージを与えることなくマグノリグナンの皮膚中濃度を高めることが可能であることが分かった。また、これらの理論に基づいて作成した製剤の美白効果も実証した。